

F SPORT PARTS (TRD)

MS153-78001 スポーツマフラー

'10.04 施工 後付マフラーに関する新騒音規制対応商品 取付取扱要領書

この度は F SPORT PARTS(TRD)スポーツマフラーをお買い上げ頂きありがとうございます。
開封時に必ず構成部品が同梱されている事、及び、商品の外観、傷、凹み等をご確認下さい。取付け後に判明致しましても対応しかねる場合がございます。本書には上記品の取付要領と取扱いについて記載してあります。取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付、取扱を実施して下さい。なお本書は必ずお客様にお渡し下さい。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行なって下さい。

■品番・適合

品番	適合車種	型式	エンジン	年式	備考
MS153-78001	NX200 t 全車	AGZ10/15	8AR-FTS	'14.08 ~	※1

- ・ 別売りのリヤディフューザー (MS313-78001/2) との同時装着が必要になります。
- ※1 同時装着の際は、リヤディフューザーを先にお取付けください。
- ・ マフラーガスカート(17451-31012)は同梱されておりません。別途、購入願います。

■構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	テールパイプマフラー RH		1	
②	テールパイプマフラー LH		1	
③	リングガスカート		1	内径φ51.2 線径φ4
④	フランジボルト		2	M10X1.25,L20
⑤	ナット		2	M8X 1.25
⑥	取付取扱要領書 (本書)		1	本書は大切に保存してください

■取付上の注意

- (1) 本商品は「道路運送車両法の保安基準」を満足していますので、一般公道でも安心してご使用いただける保安基準適合マフラーです。但し、マフラー以外の改造を行っている場合、または使用状況によってはその限りではない場合もありますのでご了承下さい。
F SPORT PARTS(TRD)サスペンション、エアロパーツとの同時装着は下記警告(項目 2)遵守の場合は問題ございません。
- (2) 保安基準適合の為、取付は純正と同様、触媒やシールド等を取外さず必ず上記適合車種に取付けて下さい。

△警告
この内容に従わず誤った取付、取扱を行うと人が死亡したり重症を負う可能性のある内容について書かれています。

△注意
この内容に従わず誤った取付、取扱を行うと傷を負ったり製品等の物的損害に結びつく可能性のある内容について書かれています。

- △注意 (1) 本商品の取付、交換作業は必ずレクサス販売店で行って下さい。
- △注意 (2) 交換の際は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行って下さい。
- △注意 (3) 交換の際は、エンジンを停止して冷却を確認してから行って下さい。火傷や事故の原因となる場合があります。
- △注意 (4) 取付後は換気の良い所で排気漏れや干渉がないかを必ず確認して下さい。正しく装着されていないと保安基準に適合することが出来ません。
- △警告 (1) 車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm(注1)**を確保して下さい。
(注1：車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります)
- △警告 (2) 車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず現車にて**最低地上高90mm**の確保を行って下さい。
- △警告 (3) 本商品の分解・加工は絶対にしないで下さい。破損や事故の原因となる場合があります。
- △警告 (4) 本品を適合車種以外には絶対に使用しないで下さい。破損や故障の原因となる場合があります。

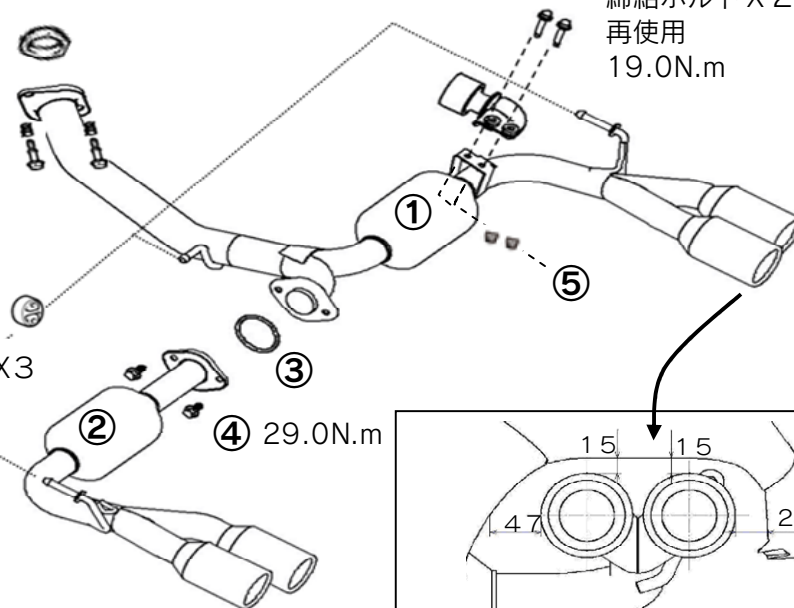
構成図

注1 マフラーガスケット(17451-31012)は別途手配いただき新品に交換してください

締結ボルト×2
スプリング×2
再使用
43.0N.m

マフラーサポート×3
再使用

EXパイプダンパ
締結ボルト×2
再使用
19.0N.m



スポイラークリアランス参考値 (mm)

仕様

エキゾーストパイプ：パイプ部 φ51.0 (SUS)
出口テール：テール部 φ85.0 (SUS)

取付要領

(1) 純正のテールパイプマフラーを修理書(トヨタ自動車株 発行)に従って取外す。

⚠ 注意 車両側パイプとの締結ボルト&スプリング、サポートは再使用します。無くさないように保管してください。ガスケット(17451-31012)は手配して新品に交換してください。

(2) 構成部品①のテールパイプRHに純正 EXパイプダンパ(再使用)を取付けを行い、車両側のエキゾーストパイプに取付け、サポートゴムを架ける。

⚠ 注意 車両側パイプとの締結は仮止め、本締めはしないで下さい

(3) 取り付けした構成部品①のパイプRHに構成部品③のリングガスケットを介して構成部品④のボルトを使用し、構成部品②のテールパイプLHを仮止めして、サポートゴムを架ける。

⚠ 注意 構成部品①のパイプとの締結は仮止めとして下さい

(4) テールパイプ左右出口部がディフューザー切欠き部のほぼ中央にあり(上図右例参照)、左右高さも同等であることを確認しながら、センターパイプ締結部を43.0N・m、構成部品①②のテールパイプマフラー締結部を29.0N.mで本締めする。

(5) 取付後、走行前に15分程のアイドリングにて異音・振動等が無いことを確認し、5Km程度の通常走行を実施し、各部ボルトの緩み、テール位置等に変化が無いことを確認し終了。

取付時の注意事項

純正マフラー取外しの際に使用した潤滑剤がサポートに付着していると走行時に横方向の強い力が加わった場合、マフラーテールとリヤディフューザーが干渉する可能性があります。取付の際に使用した潤滑剤は完全に脱脂してください。また、サポート取付け時に潤滑剤を使用することは、絶対にお止め下さい。

■取扱上の注意（ご使用になるお客様へ）

- △ 警告（1）車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm(注1)**を確保して下さい。
(注1：車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります)
- △ 警告（2）車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず現車にて**最低地上高90mm**の確保を行って下さい。

- △ 注意（1）取付直後の走行時、異臭の発生がありますが異常ではありません。いつまでも消えない時は整備工場にて点検を受けて下さい。そのまま走行を続けると、破損や事故の原因となる場合があります。
- △ 注意（2）本商品を取付けますとエンジン回転のフィーリングに変化が生じます。車両に慣れるまではエンジン回転に十分注意して走行して下さい。事故の原因となる場合があります。
- △ 注意（3）枯れ草や紙屑など燃えやすい物の近くを走行したり駐停車はしないで下さい。火災や事故の原因となる場合があります。
- △ 注意（4）運転中に不具合(異音、振動等)が発生した場合は、直ちに車を安全な場所に停車させ、専門の整備工場にて点検を行ってください。そのまま走行を続けると破損や事故の原因となる場合があります。
- △ 注意（5）マフラーに凍結防止剤(塩化カルシウム等)が付着した場合は、速やかに洗浄を行って下さい。付着したままで御使用になられますとマフラーの変色や錆の原因となります。
- △ 注意（6）走行後のマフラーは非常に高温になっています。その為、触れると火傷の恐れがあります。荷物の出し入れ時やお子様の接近には十分に注意してください。

* 本商品はテールパイプに特殊な加工を施している為、下記事項にご注意下さい。

- * 表面を損傷しないようにして下さい。同じ色調を得られる補修剤がありませんので、損傷すると補修が出来ません。
- * 汚れが目立ちやすい傾向にあります。油脂・埃・泥・薬品・手垢及び指紋等の付着により汚れた場合は、柔らかいスポンジ・布等を使用し、市販の中性洗剤(30～50倍に薄めて使用)や石鹼水で洗い流して下さい。それでも汚れが落ちない場合は、アルコール等の有機溶剤で拭取り、水洗い、から拭きを行って下さい。
尚、塩素系の洗剤、タイル洗浄剤、ステンレス研磨剤、酸性研磨剤、クレンザー、コンパウンド、コンパウンドを含んだワックス等の使用は色落ちの原因となりますので使用しないで下さい。
- * 異種の金属(鉄釘・針金等)が付着しますと、貰い錆が発生しますので速やかに取除いて下さい。その際に錆落とし用の清掃薬剤は使用しないで下さい。